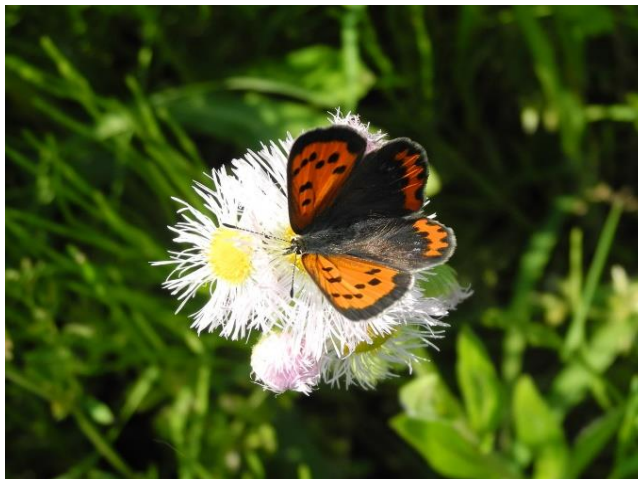


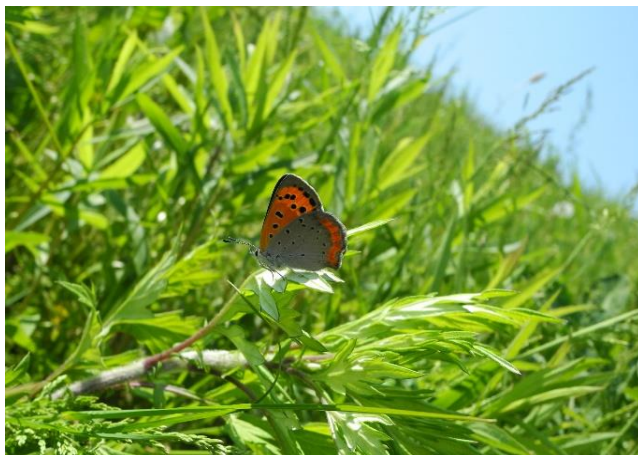
和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ベニシジミ	シジミチョウ科	緑に映えるダイダイ色の輝き	○	◎	○	全国



多摩川土手 中野島 4月下旬
春型のダイダイ色の輝きがまぶしい



多摩川土手 中野島 5月上旬
ハルジオン（写真）やタンポポによくとまる



多摩川土手 中野島 5月上旬
羽の裏も緑に映える

成虫発生時期（月）											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草	食樹		発生回数/年			越冬形態					
ギシギシ、スイバ			4~5			幼虫					

身近な蝶で最も春の喜びを感じる蝶のひとつがベニシジミです。多摩川土手では5月の連休前ころから見かけるようになり、春から秋にかけて年に数回発生します。

食草は土手に生えるギシギシやスイバ。春型はダイダイ色が特に鮮やかで目を引きますが、この色は夏にかけてどんどん黒化し、晩秋にはまた鮮やかな輝きに戻ります。メスの羽はオスに比べるとやや丸みを帯びることで区別できます。

飛び方はかなり速いのでダイダイ色が目立つ春型でも飛んでると黒っぽくしか見えませんが、運良くとまって羽を開いたところを見つければこの蝶のファンになること請け合いです。



多摩川土手 中野島 5月上旬
タンポポの綿帽子にとまる。もう蜜はないのに・・・



春の鮮やかな橙
多摩川 稲田堤
4月上旬



夏に向けて黒化する
多摩川 中野島
8月下旬



晩秋に鮮やかな橙が復活する
多摩川 中野島
11月中旬